

2024(令和6)年度 学校経営方針

伊賀市立柘植小学校

1. 学校教育目標

誰一人取り残さない教育を推進し、確かな学力を身につけた子どもを育成する

2. めざす子ども像

◎自分の考えをもち、これからの社会をたくましく生き抜こうとする子ども

- 教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していこうとする子ども
- 自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動ができる子ども
- 多様な人生モデルとの出会いを通して、自分の将来を思い描こうとする子ども

3. 学校教育目標達成のための重点項目

(1) なかまづくり・学級集団づくり

- 日々の学級活動や一枚文集を読み合うことにより、子どもたち一人ひとりがお互いのことを知り合っていく活動を継続する。
- 文化的・生産的な活動を通して、自主的・自治的な力を育む。

(2) 学力保障

- 授業力向上（授業づくり）の取組を通して、「子どもが主体的に取り組む授業」に努めるとともに、子どもたちの基礎学力の向上を図る。
- 家庭学習の内容を工夫し、保護者と協働して家庭での学習習慣を定着させる。

(3) 人権教育

- すべての子どもが自分のよさや可能性に気づき、自分の人権も周りの人の人権も大切にできるようにする。
- 差別や偏見など、「おかしい」と思うことがあれば、それをなくしていこうと行動できる子どもを育てる。

(4) キャリア教育

- 子どもたちが「将来なりたい自分」を思い描けるよう、出会い学習や体験活動を通して、仕事や生き方について学ぶ学習を進める。

(5) 保護者・地域とともに創る学校に

- 教育活動をわかりやすく伝え、保護者や地域の方とともに学校づくりについて考える機会を大切にする。

4. 柘植小学校の特色ある教育

(1) 子どもの育ちを軸とした学校・家庭・地域による協働

- 子ども一人ひとりの居場所づくりを進めるとともに、保護者・地域への情報発信に努める。
- 地域の一員としての自覚や誇りをもった子どもの育成をめざす。
 - ・柘植地域の活動に積極的に参加し、地域の一員である意識を高める。
 - ・地域を支えている人々との出会いや交流の機会を設けて、自分の地域を誇れる子どもの育成をめざす。

(2) 人権尊重の学校づくりの実現をめざして（保小中連携）

- 柘植保育園・柘植中学校との連携をより一層深め、ともに取組を進める。
 - ・小中管理職連絡会や人権・同和教育推進委員連絡会、就学前学力保障会議を定期的に開催し、15年間の取組の連続性を確かめ合う。
- 年度ごとに人権教育カリキュラムの見直しを行い、その精度を高めるよう努める。
 - ・「子どもにつけたい力」を明示することを通して、取組の具体化を図る。

5. 学校経営に係る留意事項

(1) 「コンプライアンスの推進」について

- 保護者や地域から信頼される学校となるよう、コンプライアンスの徹底（会議等における指導と学期ごとのコンプライアンス・ミーティング）に取り組んでいく。

(2) 「働きやすい職場環境づくり」について

- 教職員は、協力・協働の取組をとおして、組織の一員としての自分を意識した学校づくりに参画する。
 - ・何でも言い合える、風通しのよい職場環境づくりに努める。
 - ・互いに学び合い、高まり合おうとする同僚性の涵養に努める。
- 教職員は、心身ともに健康で職務を遂行するため、働き方改革への意識を高める。
 - ・過重労働報告を通じて、教職員一人ひとりが自身の勤務実態を振り返り、総勤務時間の縮減に取り組む。
 - ・年休や特休等の取得を含め、教職員が互いにカバーし合える職場環境づくりに努める。
 - ・毎週水曜日を定時退校日とし、職員全員でその実行に努める。
 - ・必要に応じて業務改善タスクフォースを組織するとともに、教職員全員で業務の効率化を進める。

<目標>

- ①水曜日に定時退校できた職員の割合 80%以上
- ②放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 80%以上
- ③時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数 0人
- ④時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数 0人
- ⑤1人あたりの月平均時間外在校等時間 25時間以下
- ⑥1人あたりの年間休暇取得日数 12日以上